

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 令和6年7月5日(金)
13:50~15:25
場 所 松江市立城北小学校
多目的室・各教室
指導者 埋蔵文化センター職員3名
城北小学校教諭 3名

1 主題 はにわ作り体験と松江市の古墳文化

2 ねらい ○松江市の遺跡や古墳を知ること、地域の歴史・文化についての理解・関心を深める。
○はにわ作り体験を通して、古代の人々の生活や文化への理解を深める。

3 展開

時間	学習内容	支援等	準備物
13:50 ~13:55	はじめの会(多目的室) ・本時のねらい ・講師紹介(自己紹介)	・本時の見通しをもてるよう、学習内容やねらいを伝える。	学校準備物 ・プロジェクター ・スクリーン センター準備物
13:55 ~14:10	身近なところにある遺跡や古墳について知る	・学校周辺の遺跡地図を用い、身近なところに遺跡や古墳があることを示す。 ・古墳の写真や出土品を示し、興味をもてるようにする。	・パソコン ・遺跡地図・資料 ・出土遺物 ・粘土・加工具 ・手順のプリント
14:10 ~14:20	「はにわ」について学ぶ	・「はにわ」がどのようなものであったか、写真などで説明し、体験活動への動機づけとする。	児童準備物 ・新聞紙 ・水入れ ・ラップを巻いたトイレットペーパーの芯
14:20~	出土遺物見学 はにわづくり準備	・クラスごとに、入れ替わりで見学と準備を行う。	
14:40 ~15:20	はにわづくり体験(各教室)	・体験の前に制作手順を説明する。 ・児童の様子を見ながら、必要に応じてアドバイスをする。	
15:20 ~15:25	おわりの会	・担任から児童数名の感想を聞き、まとめとする。	